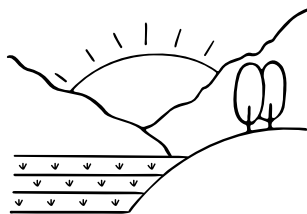


帝王学を志すリーダーのための  
情報誌



2023年7月号

vol.22

KIDO  
no HITSUJI  
己未

発行元：Mikoto, Inc.  
211 East 43rd Street, #1103  
New York, NY 10017  
ny@mikoto-inc.com



# みことTIMES



## 特集：あなたの蒔きたい種

### WORLD SCOPES ～ TRIVANDRUM ～

各国のレポーターから、トレンド情や文化の違いなどをお届けします

### みことイベント SCHEDULE

帝王学を志すリーダーたちのイベントのご案内

### 7月己未月の ポイント

ポイントを意識することで、自然との調和、運気の流れを感じてみてください



みことTIMESでは  
 帝王学を通じて生き方・あり方を探究している同志が中心になって  
 グローバルな視点での情報やエッセイをお届けしています。  
 帝王学は、後悔なき人生を送るための人生の羅針盤です。  
 世界中、一人でも多くの人に知っていただき、  
 幸せを体感できる世界の実現を目指します。

みことTIMESは毎月1日にお届けいたします。お申し込みはこちらから  
<https://mikoto-inc.com/tmail>



水性エッセイ

## マダムYumikoのつぶやき

～ 直観を信じる ～

Posted by Yumiko Shito  
 エグゼクティブコーチ&アドバイザー  
 グローバル金融企業を経て、起業。ニ  
 ユーヨークと東京を行き来しながら、エ  
 組職COOに向け、エグゼクティブ・エ  
 デューケーションを展開している。オ  
 帝王学と出会い、この学びが世界に広  
 いる。地球平和につながることを願って

今、文章や画像や音楽など、多岐にわたる領域で活用されていGenerative AI（生成AI）が話題の中心にありますね。

賛否含めて様々な議論がされていますが、たとえばChatGPTは、かなりの時間を要するような情報を瞬時に集め、かつ、まとめてくれる、という画期的なものです。

興味深いのは、依頼の仕方によって、出てくる成果物の質が全く違う、ということですね。

私たちの日常の対話の中でも、相手への問いかけによって、思考、感情など相手に与えるインパクトや気づきが大きく変わります。

問い次第で、相手に大きなパラダイムシフトが起きる可能性もあるわけですね。問う力は大事ですね。そして、聴く力。

聴く力というのは、自分自身の受容力（受け止める力）を醸成します。誰もが自分の価値観をもっている中で、相手との関わりから、相手や自分がいい悪い、正しい正しくない、ではなく「違う」だけ、という気づきももらい、受け入れることができるようになります。

そしてそれはコミュニケーションの質を上げ、お互いに受け入れ認め合う関係性の構築することにもつながります。対立ではなく、協働/共響が生まれます。問う力と聴く力、ともに醸成していきたいものですね。

あなたはどのような問いを投げ、どのような姿勢で聴きますか？

## アドバイザーサービスのご案内

### Strategy Advisory Service (ビジネス・人間関係 全般)

こんなお悩みを解決します。

- 効果的な経営戦略を立てたい
- 会社の攻めや守りのタイミングが知りたい
- 社員の才能・資質を知り最強チームを作りたい
- 効果的な人財育成の仕方を知りたい
- 営業戦略を知りたい
- 社内・外の人間関係を円滑にする方法を知りたい

初回の方に限り \$ 200 / 90分

2回目以降 \$ 150 / 60分

～帝王学を活かしたアドバイザーサービス～  
 ビジネス上の課題解決から

ご自身の才能資質やバイオリズムの活かし方まで  
 当スクールアドバイザーによるオンラインセッションです。

### Know Yourself & Relationship (個人の才能資質+他者との関係性)

こんなお悩みを解決します。

- 自分の強み・才能・課題を知りたい
- 自分の人生のバイオリズムを知りたい
- 子供の才能の開花のさせ方を知りたい
- 上司からの信頼を獲得するためのアプローチの仕方を知りたい
- 家族との関係性をよりよくしたい
- 結婚・引越など、自分と家族を含めた最良のタイミングを知りたい

1回目より \$ 100 / 50分

詳細はこちらから

<http://mikoto-inc.com/ads/>





# みことTIMES

2023年7月号

vol.22

KIDO  
no HITSUJI

己未

## 03 アドバイザリーサービスのご案内

・ マダムYumikoのつぶやき

～問う力と聴く力～

## 04 特集：あなたの蒔きたい種

## 07 帝王学レポート

・ English phrases which give us  
courage

・ 茶道と陰陽五行～葛焼き～

## 08 ・ カウンセラーから見える景色

～起きることが起きただけ～

・ 滞泥（えんでい）のひとこと from 45th

～けがの効用～

## 09 ・ マンダラと帝王学

・ World Scopes ～Trivandrum～

## 10 ・ My Another Sky

## 11 みことイベントSchedule

## 12 コラム：相剋論って何？

そうこくろん

2023年7月己未月 生き方のポイント

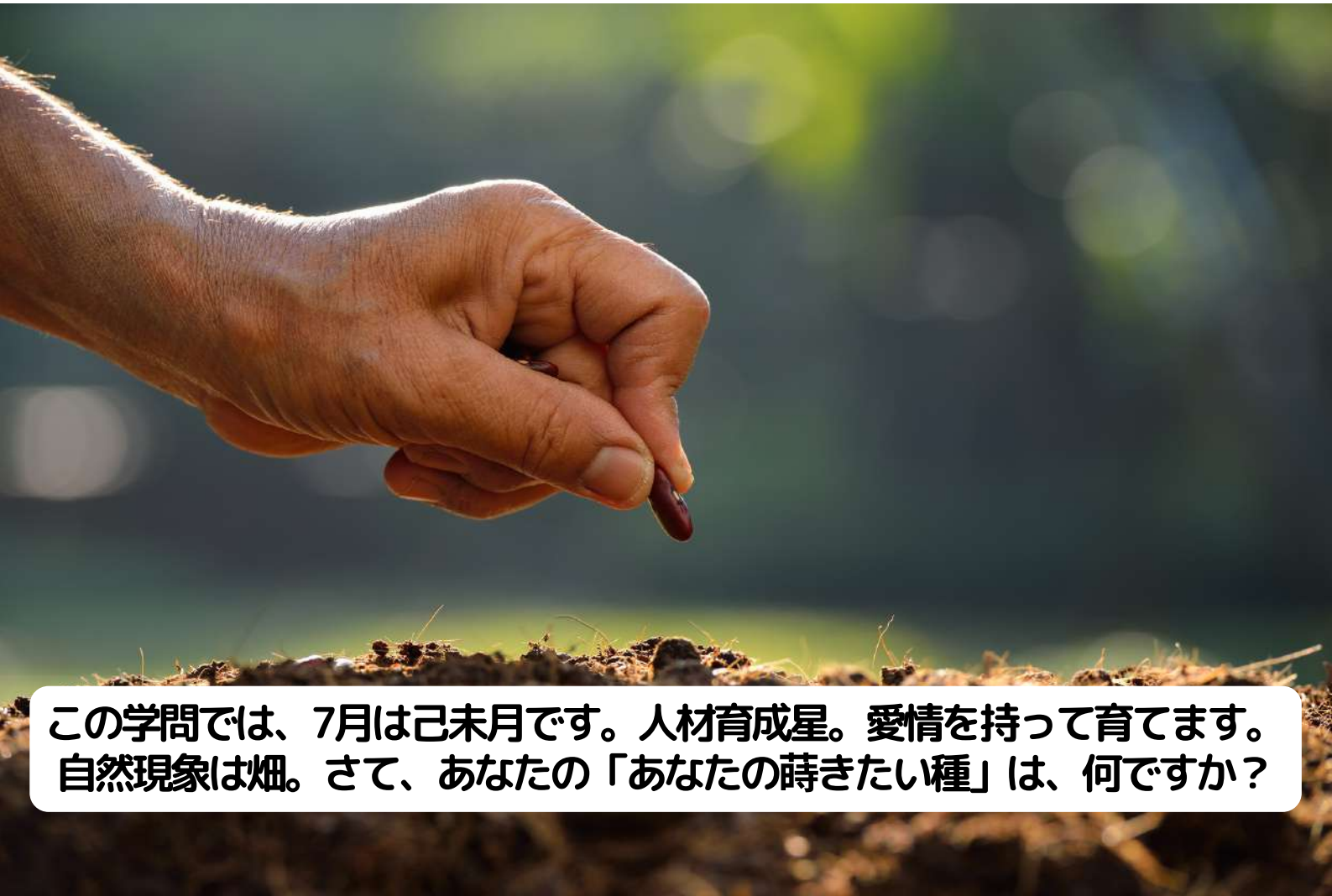
編集後記

PHOTO BY TAKAKO KAWANA

6月はプライド月間とされ、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー)の権利を啓発する活動やイベントが行われます。その象徴であるレインボーフラッグが教会にも。



# 特集 ☆ あなたの蒔きたい種



この学問では、7月は己未月です。人材育成星。愛情を持って育てます。自然現象は畑。さて、あなたの「あなたの蒔きたい種」は、何ですか？

## あなたの蒔きたい種 #1 『ソトヨメ研究と未来の希望』

私は今、ソトヨメ研究の種まき中。「ソトヨメって何？」と思われた方もおられるかもしれません。こちら造語ですので一般的ではない言葉です。

地方で暮らしていると、Iターン、Uターン、Jターンで田舎暮らしに飛び込んできた方と知り合う機会があります。ここで言う「ソトヨメ」とは、夫のUターンに伴い移住した、在住地が出身地では無い妻のことを指します。しかも、「ヨメ」というくらいですので、夫の実家に同居している、または限りなく近い場所に在住している、という状態を指します。

私はソトヨメになってから、人生で何度か経験するであろうクライシスに直面しました。ジェンダーの問題や日本の高齢過疎化と地方創生、コミュニティの柔軟性など、大きな物事に立ち向かっている気でしたが、後にしっかり天中殺と重なっていたことを知りました。

孤独と戦うソトヨメが一人でも元気になって欲しい、そこから希望ある未来の暮らしが作れたらいいなと願っています。

Posted by Sayaka Yamaguchi

## あなたの蒔きたい種 #2 『人生100年時代』

人の平均寿命が1900年代には10年に2歳の割合で伸びたそうです。つまり100年で20歳。このトレンドは21世紀に入っても変わっていないようですから、今の子供たちは100歳まで生きることになりそうです。

学校を20～25歳で出ると80年ある。定年は80歳頃になるのでしょうか？人生設計も老後の概念も根本から変わるでしょうね。更にIT、AIの爆発的な進歩が続きますから、2100年はおろか2050年がどんな社会になっているのかも想像が付きません。仕事はどんな場所、やり方で？モノ作りはロボットだけで十分車は空を飛んでいる

政治が、社会が、コミュニティがこれに対応するよう努力していくことは大切ですが、やはり根本は一人ひとりの在り方かなと思います。いかに揺るがない、自律した「人」を育てていくか。教育も根本的に変革していく必要があるでしょうね。そして、陰陽五行論や帝王学がもっと大切になるんじゃないかな、この学問の種を蒔き続けることが大切ではないかなと思います。

Posted by Hank Iwasa

## あなたの蒔きたい種 #3 『タネとネタ』

日々いろんなタネを蒔いています。なりゆきで手相を学ぼうとYouTubeで研究を始めたところ、手フェチなことを思い出し天職かもと高揚したり、文章を読むのが苦手でしたが、とある本の校正の依頼がありトライしたところ、粗探しを目的にすれば読めることに気づきました。なりゆきで編集長になったみことTIMESもタネの1つです。「人間は自分のメディアを持つと視点の質が変わる。例えば目の前を猫が通り過ぎることを、それはただそれだけの現象であったものが『ネタ』として批評対象になる」これは尊敬する橘川幸夫さんの言葉。視線の質が変わりネタを探す日々を送ると、ただの現象として過ぎ去っていたことから気づきが起こります。これが世界に広がりムーブメントになれば世界がより面白くなると思います。ネタはタネのもと。見つけたネタは一通り全部タネにして蒔いて、育つかどうかは天にお任せ。さて、今日もネタ探しに励みます。

Posted by Ai Matsutani

## あなたの蒔きたい種 #5 『やる気の種』

「心の種まき」は大げさですが会話の端にやる気が伝われば良いな、とは思っています。「ゴミ屋敷」や「汚部屋」の清掃バイトをたまにしています。

お客様は女性限定でお金を出してでも他人に片付けてほしい、そんな人たち。共通点は、手つかず・未開封・同種類で別銘柄、そして放置。

衣類や靴はもちろん、健康食品やダイエット関連サプリ、アルコールスプレー・マスクなど消毒用品、洗剤類、掃除道具が多いです。最初は明らかなゴミ捨てからはじめ、次にカテゴリーでざっくりと仕分け（食品、衣類、雑誌、家電等）そして、いる・いない、使う・使わない、を手にとりて見ってもらう。

床が見えモノが分けられると方向性がなんとなく見えます。最終的には本人の心の問題です。

でも、ダメなこと、できないことに目を向けるのではなく、相手の要望を聞きやりたいことできることに目をむけてもらうような言葉使いをこころがけてはいます。

Posted by Mariko Okabayashi

## あなたの蒔きたい種 #4 『笑顔』

またまた難題の『蒔きたい種とは』と考えるとロダンの考える人のポーズになってしまいました。悩んだ時は色々と考えますが考えが行き詰った時は脳をリラックスさせると思考が変わり新たな方向が見えてくるの事。リラックスさせる方法は人それぞれ色々あるでしょうが一番の方法は笑う事だと記事を読んだことがあります。笑いは体全体の血行が良くなり体も心もリラックスするとの事。リラックスした状態で人と接すると互いの緊張が解けコミュニケーションも取りやすくなり次第に相手への敬う気持ちが生まれ現在の社会状況の自分さえ良ければから共存と考えが変わるのではないかと考えています。相手に対する好奇心から人と会う時に自然に笑顔が生まれてくる人もいれば相手が持つ波動が心地よく感じ自然に笑顔になる人もいるでしょう。人それぞれ笑顔を作る素に違いありますがそれぞれが笑いの種を蒔き社会が良くなるように私も笑いの種を蒔きたいと思っています。

Posted by Fuminori Yokoyama



## あなたの蒔きたい種 #6 『笑顔の種を振り蒔きたい！』

私は幸せの象徴は笑顔だと思っている。地球上に笑顔がたくさんあればあるほど、幸せのエネルギーは伝播していくものと信じている。もちろん「作り笑顔」をしてしまう時もあるも知れない。しかしそんな時は目が笑っていない状態なので、鋭い人にはすぐにバレてしまう。だったら心から幸せな笑みを湛えられる人でありたい。赤ちゃんや子供たちの笑顔がどんなに私たちの心を癒し、自然と笑顔にさせてくれるパワーを持っているか、多くの人が経験していることだと思う。それは対面だけでなく写真や映像でもしっかりと私たちに幸せなエネルギーを届けてくれる。生きていれば、辛いことも悲しいこともあるけれど「つらい時ほど笑え」という言葉が示す通り、笑顔はハッピーの源、笑顔は幸運を引き寄せます。私は出来るだけたくさんの笑顔の種を振り蒔きたい。その種できっと誰かがご自身の幸せの花を咲かせると信じて。

Posted by Yuko Mizoguchi

## 特集：あなたの蒔きたい種



## あなたの蒔きたい種 #7 『種まき』

なんで表現したら良いか分からずに投稿がギリギリになってしまいました。常に一対一でお会いする時など(すでに長年の職業病だろうと思いますが)目の前の方と同化しようとしている自分がいます。同化など無理な話なのですが、『どう感じているのだろうか？どう考えているのだろうか？』……そう今わかった気がする。目の動き。話し方。肌の調子。髪の艶。エネルギー。声のトーン。色んなシュチュエーションがある中その時を通して『観察する事』これこそが私の『種まき』なのかもしれない。その中で『ごこちなさ』『目の力』『声の張り』等々。その中で目の前の方の異変をキャッチして楽しい時は楽しく。落ちている時はそれなりに。目の前の方を観察して寄り添う為の『観察』こそが私の『種まき』と、この記事を書く事を機に知ることができました。

Posted by Ayumi Ogawa

## あなたの蒔きたい種 #9 『タネとなんかの実』

帝王学との出会いは、2014のご縁で小池先生に福岡で鑑定をしていただいたのがきっかけ。そして2018に神戸で主宰したイベントで多聞スタッフの方に出逢ったり、2020にNY塾を紹介されたりしつつ、今に至る。今となっては、『帝王学』が私の日常に欠かせないものになっていて、仕事、子育て、パートナーシップすべてにおいて思考と行動のベースになっている。この9年間の波乱万丈な体験で実感していることは、その時に必要な学びや体験が必要なタイミングに寸分違わずやってくる。しかし辛すぎてスルーしたり、常識に囚われたり、自分の心に嘘をついたこともあって更に強烈なお知らせ現象も体験した。陰陽どちらの体験にひとつも無駄などなく、振り返ればすべてが『なんかの実』となっている。にしても、どれだけの品種のタネを蒔いてきたのかな、と。そして今なおタネ蒔きをしているわけで、これが『なんの実』になるのか。神のみぞ知る？！

Posted by Satomi Sugawara

## あなたの蒔きたい種 #8 『チャンスの種』

私の蒔きたい種はいくつかあります。笑顔の種、チャレンジの種、やさしさの種、希望の種、癒しの種、幸運の種、感謝の種、Give and Giveの種、Here and Nowの種、ユーモアの種。どれも地球に必要なんじゃないかと思います。今月の干支「己未」を意識して、人を育てる土壌にまくとしたら「チャンスの種」かなと思います。人は皆幸せになるために生まれてきていて、自らチャンスを育てて幸せを掴み、味わい感じとってもらえたらと思うので、その種=きっかけづくりに、役立ちたいなと思います。まずは行動すること、素直に学ぶこと、良い言葉を使うこと、挨拶すること、約束を守ること、人にも自分にもやさしくすること。この学問のエッセンスばかりです。種蒔き側も試される訳ですが、謙虚にコツコツと、可能性を信じて、私も頑張ります。

Posted by Asako Igarashi

## あなたの蒔きたい種 #10 『種蒔きのコツ』

種蒔きのコツを調べると、種から発芽させるためには、蒔き方を考える必要があるそうです。土の状態や馴染ませ方、太陽光が必要かなど、蒔く種の種類で成長までの過程に手入れが必要になります。人を育てることは、手入れをすることに近いのかなと思いました。蒔く種には元々成長する力が備わっていて、直接的にというより土壌を整えていくことで、自然と伸び伸び成長してもらいたいです。また、手入れは自分に対してもする。そうすれば、蒔いた種の目に見えにくい変化に気づくことができるように思います。改めて、私の蒔きたい種は「進化の種」です。芽が出てからも、その先に多様に順応し、さらに変化できるようなそんな種を蒔きたいです。

Posted by Ayaka Ikeda

## 特集：あなたの蒔きたい種

特集を総括して～はぐくむ～

「種」とはきっかけやそこから始まる希望のように感じました。  
育ってほしいという願いなしに種を蒔くことは中々しないと思います。  
蒔いた種をはぐくむには、種にあった環境が必要です。  
種の変化を敏感に感じ取りながら、環境整備をするのが私たちの役割かもしれません。

編集部からのお知らせ：あなたもエッセイを投稿してみませんか？

8月号の特集テーマは、8月=庚申月。庚申には町や何か大切なものを守るというお役目があります。大きな町には「庚申塚」がありますよね。ということで、「あなたにとっての庚申塚(守ってくれているもの)は何ですか？」

(7/15締切) ①ご氏名、②タイトル、③エッセイ本文(400字以内)をny@mikoto-inc.comまでお送りください。



## 帝王学レポート

## REPORT



みことTIMESは、帝王学を志すグローバルリーダーたち中心の活動や実践していること、また、講座修了生コミュニティの中で学びを深めている実践者による情報誌です。ここからは、実践者に投稿いただいた、連載コーナーをお届けします。

連載

## ENGLISH PHRASES WHICH GIVE US COURAGE

Posted by Yoko Miyamoto

土曜日の朝にNYスクール修了生を中心に集まって「英語で寄り添う会」を開催しています。帝王学の教えに基づき、相手に「寄り添う」事を最優先させた英語の言葉の選び方や言い回しを共有しています。一生涯、淡々と、努力を続けることを学びます。

## 「帝王学」の教えより

## &lt;Work Hard All Your Life&gt;

Working hard when you are young makes your later life easier is a misconception. The efforts in your young age is only one of the causes of having a comfortable life afterwards.

Depending on other factors your middle age and old age will turn out completely differently. Therefore, you always need to work hard. Just keep making the best effort matter-of-factly until the end of your life.

## &lt;一生一所懸命に生きる&gt;

若い間に努力をして一所懸命に働いておけば老後は楽になる、というのは勘違いである。若いときの努力は、その後の保証の原因の一つではない。

他の原因次第では全く違う中年や老年を体験するのだ。だから、努力はいつだってすべきである。死ぬまでただ淡々と努力し続けるのみだ。



連載

## 茶道と陰陽五行 - 葛焼き -

by Eriko Yamamoto



夏が近づくと、和菓子では、葛餅、葛まんじゅう等、葛を使ったものがよく見られます。半透明で、涼しげな感じがするからでしょうか。

以前は、葛まんじゅう等は、梅雨が明けるまで、食べないものだったそうです。理由は、昔は井戸水を使うことも多かったため、このような水分の多いお菓子で、体調を崩すことがある、と思われていたからです。理由はよくわからないのですが、梅雨が明けると、井戸水の菌が少なくなるのか、種類が変わるのか、食べても、体調を崩すこともなくなるそうです。

でも、だんだんと暑くなってきて葛を使ったお菓子が食べたくなくなったらどうしたらよいのか…。そんな思いからできたのが、「葛焼き」です。葛と餡を合わせて練り、蒸し、その後、表面を焼いたもので、見た目は、「きんつば」のような素朴な形です。5,6月しか販売していないお店もありますが、夏の間、ずっと販売しているお店もありますので、今年の夏は、ぜひ、召し上がってみてください。



連載エッセイ

## カウンセラーから見える景色

～起きることが起きただけ～



なんだか急に、悟ったようなことを書くようで恐縮ですが、これを最近つくづく感じます。

一見、喜ばしいことも。一見、悲しいことも。

「起きることが起きただけ」と試してみようと、すべてが必然で、その出来事を振り返った時に『だからあの時にこれが起きたんだ』と感じられるようです。

そして（特に、嫌だなと感じられる）その出来事が、なぜ起きるべくして起きたのかを見ていくと、そこには自己成長が隠れているもので、カウンセリングでその自己成長が見つかる瞬間が、クライアント様とともに喜び合える瞬間でもあります。どんなに辛いことがあっても、それを「起きることが起きただけ」だと気付くと、その辛い体験が、もはやギフトのように感じられるくらいになっていくのです。（カウンセリングは、そんな時間を創っています。）

渦中で、そんなに割り切れる訳もなく、「苦しい」「つらい」「しんどい」となるのは当たり前で、「起きることが起きただけ」なんて受け入れるのは難しいものですが、少し落ち着いたときに、振り返っていただけたらいいな、と思っています。

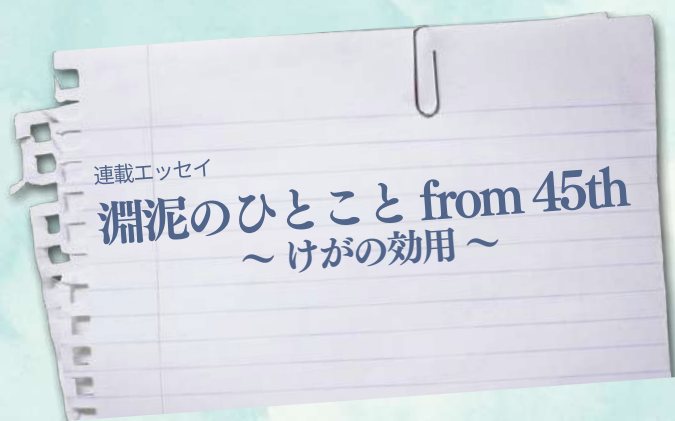
もちろん、ひとりで解消できないくらい大きなストレスがかかった時には、カウンセラーに頼る、ということもぜひ覚えておいてくださいね。

Posted by Mayu Itani@Tokyo

心理カウンセラー／キャリアカウンセラー

ひとりひとりの「その人だけが歩く道」を一緒に探す時間をご提供しています。

陰陽五行論が、よりクライアント様ご自身の人生の意味を色濃くするものになると実感しています。



Posted by Hank Iwasa  
 大手機械メーカー勤務。大規模な開発プロジェクトに参画し、直近5年は米国オペレーションのヘッドを務める。8年前から陰陽五行論を学び始めてその奥深さに感銘を受け、学びを仕事に活かす一方、宿命鑑定師として人々の悩みや苦しみに寄り添う活動を続けている。昨年4月、日本に帰国。

確かに、振り返ってみると、どんなことでも半年か一年も経てば笑い話になったように思います。何があっても、背筋を伸ばして前を向く気持ちを失わないで笑顔でいたいですね。

心が傷つく経験は誰にでもあると思います。帝王学では「良い時は精神は淡々と、悪い時は精神を励まして。現実が壊れたら精神を明るく保て」と教わりました。厳しい状況になった時ほど笑顔でいる、笑い飛ばす、ポジティブな言葉を自分自身に与え続けることが大切だと。へこむ、落ち込むという選択、言葉の与え方をしているのは自分自身です。

けがは痛いし、けがなどしたくはありません。でも、余程のことがなければちゃんと治るし、少しは賢く注意深くなる。これが経験と成長なのでしょうね。大人になってもけがをします。切った、折れたという外傷は程度にもよりますが時間が経てばまず治ります。心のけがの方が面倒かも知れません。精神的にダメージを受けると肉体的なパワーも落ち健康にも影響しかねない。背中が丸まってしまうようなイメージでしょうか。

7月という夏休み。山川に恵まれた（山川しかなかった）田舎で育ったので、小さい頃は遊び道具は結構自分で作りました。丸太を削ってバット、板材や竹で刀や弓矢などなど。材料は身近に転がっていたし、ナイフや鉋（なた）などの刃物も手近に揃っていました。刃物を使うので手指にはよくけがをしました。小学校1年生だったと思います。離れを建ててもらっていた大工さんの少し大きな鑿（のみ）を無断で使っていたら、左手の手のひらにぶすつと刺さってみるみる血があふれて。親に見つかると思わずに思って、自分で応急処置をして包帯を巻いて素知らぬ顔で遊びに出かけました。その傷はいまだにくっきりと残っています。



# マンダラと帝王学

～水性レポート～

Posted by Sayaka Yamaguchi

ナレーター・ファシリテーター・イベントプランナー・プロジェクトコーディネーター・コミュニティマネージャー。NICE日本国際ワークキャンプセンター理事。キャリアデザイン学修士。渡航国数23カ国、各地でNGO活動に取り組んできた。陰陽五行論の学びを社会課題への取り組みに生かすべく活動をスタート。

・マンダラ読書会・絵本編  
毎月一回、グローバルコミ  
ュニティでマンダラ読書会  
を開催させていただいてい  
ます。今月からは、毎回異  
なる一冊の絵本を取り上  
げ、陰陽五行・帝王学の観  
点から対話を深める会とな  
ります。  
・今月の一冊『ぼくだつ  
つとべるんだ』  
これまで取り上げてきた本  
は、絵本の中でも古典とし  
て扱うことが出来るジャン  
ルのものでした。そこで、  
今回は比較的新しい本の  
から、題材とする絵本を選  
ぶことにしました。  
海外絵本ランキングで特に  
目立っていた一冊を選ばし  
にしました。作者は台湾出  
身の郭飛飛（グオフェイ  
オ）です。これまで、古典  
児童文学と異なり、最新情  
報はイン스타그램で手に  
入れることもできます。絵  
本出版当時、フィフティ  
は二十八歳。イギリスのケ  
ンブリッジスクールオブビ  
ジネスで児童向け絵本の修  
士号を取得しました。英語  
で執筆活動を行う現代絵本  
作家なので、絵本の読解や  
作者研究なども、これまで  
にない方法で取り組むこと  
ができています。  
・朗読者に対しての興味  
今回は、事前に収録されて  
いる絵本の朗読の動画を活  
用しました。これまで、読  
み手に対しての意見が出た  
ことがなかったのですが、こ  
れらも新たな気づきとなり  
ました。読む速さや、本文  
忠実なのか、感情の込め方  
など、普段無意識に聞いて  
いる声も、絵本を楽しむ上  
では大きな要素となり得ま

超プロではない	いろんな人が読むと印象が違う	気持ちを込めて朗読				海鳥	ファーストペンギンという言葉	リスクを取る
読む速さ	読み手	擬音の再現性				恥ずかしがり屋	ペンギンの考察	飛ばないドードーは絶滅した
読み聞かせボランティア								
空を飛ぶという比喻	その世界に入って自由に	ルールから外れた自由	読み手		ペンギンの考察	鉛筆画の魅力	真っ黒のページでリセット	影がぐるぐる書き
幸せになれる場所	人間に置き換えると	画一的ではない	人間に置き換えると	2023/6/7 ぼくだつとべるんだ	絵	ぼっしやーん	絵	怖さを感じる
			メッセージは？	一緒にとぶこと	とべるととばない			
物理的ではなく心の問題だ	場と師	幸せは画一的ではない	「こうやったら飛べんねん」	得意なことが違う人と分かり合う	一緒にどうやって行くのか	サンシャインシティに飛ぶペンギンがいる	自由に泳ぐ=飛んでいるように見える	泳ぐのと飛ぶのとでは違いはない
特性が活かせるフィールド	メッセージは？			一緒にとぶこと		とぶ=自由	とべるととばない	海の中を飛ぶんだ
						人間が飛ぶことへ憧れる=自由への欲望	「とぶ」がひらがな	

■フィフティ・クオさんは、2019年のエディンバラ国際ブックフェスティバルの座談会で、「英語と中国語では、全く異なる思考方法で執筆している」という自身の体験を語っています。私たち日本人も、日本語と英語とで、異なる感覚を持っている、という人も多いのではないのでしょうか。執筆者の生の声を聞いたり、意見交換をする場が一般に開かれている、というのは、同じ時代を生きる私達にとって、とても興味深い体験になるはず。そういった意味でも、絵本を楽しむ際には、出版された年代を加味しながら幅広く選んでいくことが求められていることを感じています。  
■今回の対話で、とても興味深かったのは、挿絵に対する感覚の違いについてです。ペンギンの子どもが海の奥深くに沈んでいくシーンの真っ黒なページに対し、「落ち着く」と感じたり、「怖い」と感じたり、と個人で捉え方が異なることを体感しました。そういった感覚を語り合える場所を今後も作っていきたいと思っています。

■今回は、『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売らされました。』を取り上げ、陰陽五行の読書会を計画しています。こちらはオープンイベントですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。あなたのご参加をお待ちしています。

## World Scopes Trivandrum: Posted by Keisuke Ikeda

帝王学 for Leadersのコミュニティには、世界各国に在住するメンバーが所属しています。このコーナーでは各国のレポーターから、トレンド情報や文化の違いなどをお届けします。

2023年3月、仕事の出張で初めてインドに行くことになりました。僕が訪れたのは、インドの中でもトリバンドラムという南インドのケララ州にある土地でした。インドと聞くと、皆様はどのようなイメージをお持ちでしょうか？

僕のイメージは『空気に色がある、交通渋滞がひどく全体的にゴミゴミしている、安全に水が飲めない』等のイメージがあります。そのイメージはおおむね間違いではないらしいのですが、トリバンドラムはインドの中でも有名なリゾート地で、どこか沖縄のリゾートのような雰囲気を感じる土地でした。

ホテル（The Leela Kovalam, a Raviz Hotel）は、現地でもかなり有名なホテルで、プライベートビーチやプールがついていたのですが、プールに飛び込むとお腹を壊すこと必至なので泳ぐことは諦めました(笑)。インドの水は日本人には要注意で、野菜を洗った水や氷などからやられるケースも多いため、出張中は、野菜は一切食べず、ボトルから出てきた水以外は飲まず、歯磨きはミネラルウォーター、シャワーは息を止めて浴びるなど、徹底して水に気をつけたところ、お腹を壊すことなくインドを満喫することができました。3日間しかいませんでしたが、インドの文化に触れて目が覚めた気分でした。







# My Another Sky

リレーエッセイ

このコーナーでは、帝王学を志すリーダーたちの「大切な空」をリレー形式で紹介しします。初めて見るようでいて、どこか懐かしい。胸がなんだか熱くなるような、そんな風景を切り取ります。

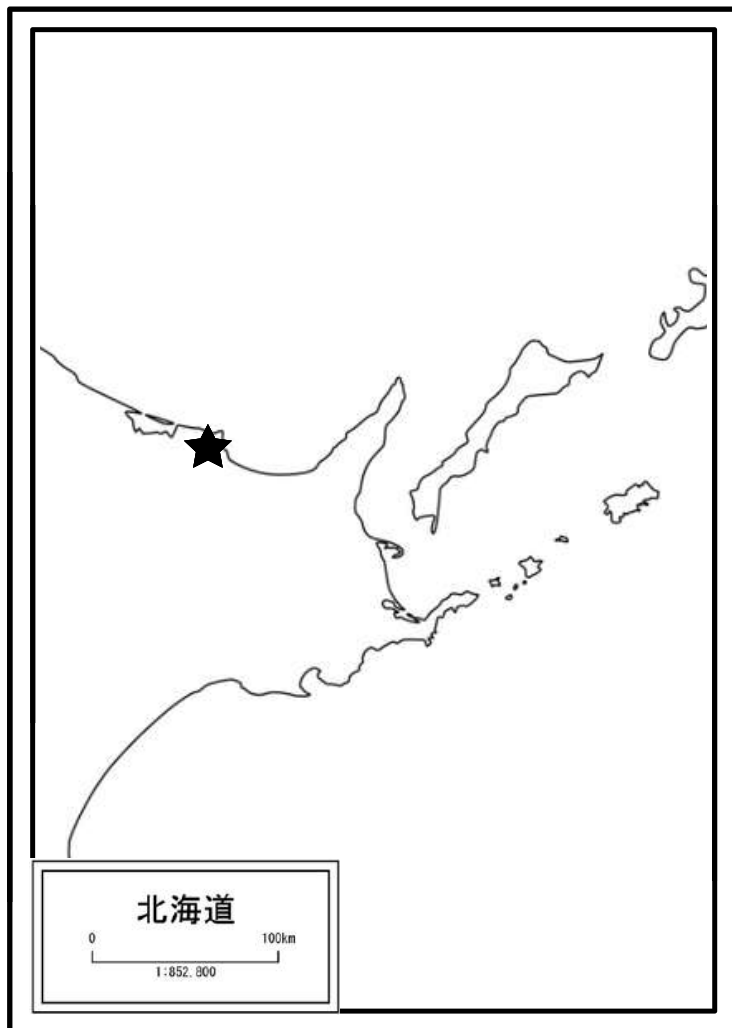
私のアナザースカイ 網走

青春時代過ごした街の風景がシャッター街に変わっていく。

「もう、網走はダメだ」恩師や同級生がそういうたびに悲しい気持ちになった。『こんな田舎は嫌だ。都会人になりたい。もっともっと楽しいことがあるはず！』そう思ってた。上京した横濱。エキゾチックな景色に人との出会い・楽しいこと…と心が躍るものの、そういうのは何年かすると慣れるもので。何かしていないと認められないような渴望感に苦しくなる。「もっと、ありのままの自分でいられたらいいのに。」自然が沢山あるのは、実は豊かなことだと、外に出てみて気が付いた。どこに行っても知り合いに会うことは、繋がりに支え合っているから。「離れてもできる街づくり」ということで十年活動をつづけた後、人の繋がりを生かす一般社団法人を作った。そのため、感じることは…やっぱり、地域の魅力は人の魅力

網走の朗らかで底力を秘めた人が好きだということ。

By Misato Matsubara







# みことイベント Schedule

2023  
July 7月

帝王学スクール for Leaders 修了生向けの「継続的な学びの実践」イベント（全てオンライン開催）

※日時の上段：ニューヨーク時間 下段：日本時間

日 16

20:00-21:00 EST

月 17

9:00-10:00 JST

## 五徳 悪心磨き部屋 By Ayumi Ogawa

五徳～仁義礼智信～を磨く為に日々皆さま研磨しながら過ごしていらっしゃると思います。たった5文字ですが、生活に落とし込み真っ当な五徳の生き方でできますか？私達人間が共生共存共栄する中で色々あるのが人生。分かっちゃいるけどやめられない、わかっちゃいるけど時々キレる愚痴る、なんて悪心が出ちゃったら、その悪心をどう研磨して五徳に転換していくか！一人でモヤモヤせずに皆んなで解決していきましょう！

水 5

7:30-8:30 EST

水 5

20:30-21:30 JST

## マンダラ読書会 By Sayaka Yamaguchi

9×9マスのチャートに項目を当てはめながら、一冊の本をじっくり味わう読書会です。オンライン上で文字入力作業を行いますので、PCからのご参加を推奨します。またこの会は、オープンイベントですので、ご興味をお持ちの方、どなたでもご参加可能です。テーマ書籍は『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました。』です。本は事前に読んできていただく必要はありません。集まったその場でワイワイ話しながら内容を深めましょう。

月 24

7:30-8:30 EST

月 24

20:30-21:30 JST

## ★夏の学び特別企画★ 雑学王Y氏に質問する会 By Ai Matsutani

暑い暑い真夏の学びの特別企画として、好奇心の星・龍高星をキラキラと輝かせる雑学王Y氏に質問する会を開催いたします。今この瞬間にも多様な知識を探究し続けているだろうY氏に質問することで、ChatGPTもまだ知らない人類の叡智を引き出しましょう。龍高星のある方もない方も、雑談力・コミュカの筋トレに、質問力の腕だめしをご一緒しませんか？（専用ZoomURLにて開催）

金 14

8:00-9:00 EST

金 14

21:00-22:00 JST

## 未来フェス -5分間スピーチのお祭り- By Ai Matsutani

未来フェスin July 己未編。『己未』といえば、『56番、離通(りつう)、稼穡の豊穡(かしよくのほうじょう)、教育者に向く、人を育てる人、夏の畑、物はみな実る土、金性があれば「土金育秀」、粘り強く人生を積み上げていく』など、これらから連想されるトピックでもなんでもOKです。聞くだけ参加もお気軽にどうぞ。エントリーシートにご表明の上ご参加ください。同じ学びの仲間のオープンイベントです。（専用ZoomURLにて開催）

金 7, 14, 21

18:30-19:30 EST

土 8, 15, 22

7:30-8:30 JST

## 英語で寄り添う会 By Eriko Yamamoto

日本時間、土曜日の7時半から開催しています。一昨年9月から、より英語で寄り添えるように「宿命鑑定が英語で出来る」を目標にできたらいいなと思っております。お題として宿命鑑定の例を事前にお知らせしますので、自分だったらこんな風にお話するかなと考えていただければと思います。

金 6/30, 7/21

19:40-20:20 EST

土 1, 22

8:40-9:20 JST

## リラックス腸活ヨガ By Yoko Miyamoto

ヨガの呼吸法を取り入れながら腸のマッサージを行い、腸本来の機能を高める事を目的としたクラスです。ヨガの難しいポーズなどはありませんので、ヨガ未経験の方もお気軽にご参加ください（動きやすい服装、床が痛くない環境）。このクラスは、皆様のご家族・ご友人もご参加可能です。（専用ZoomURLにて開催）詳しくは、Slack内「金性\_体を動かす」チャンネルをご覧ください。

土 1, 15, 29

20:00-22:00 EST

日 2, 16, 30

9:00-11:00 JST

## 研鑽会 -六十花甲子の世界- By Hank Iwasa

陰陽五行論の基礎をなす六十花甲子をひとつずつ学んでいきます。大切な季節感、方向感も見ながら干支それぞれの特徴を確認し、宿命事例も出して語り合っ、和気あいあいとした雰囲気の中で六十花甲子を学びつつ、関連する学理の話も適宜織り混ぜていく予定です。5月から十二支別に干支を勉強しています。7月は「午巳」という南方、火性、夏の十二支が付く干支10個、更に「寅卯」という東方、木性、春の十二支が付く干支10個を学んでいきたいと思ひます。

### ▼イベントの参加方法（原則、予約不要・無料）

【帝王学スクール修了生の方】「帝王学スクール for Global Leaders」Slackに案内されるイベント用のZoom URLよりご参加ください。

【帝王学を学んでいる方・学んだ方】

みことTIMESの定期配信メールに記載のZoom URLよりご参加ください。定期配信のご登録はこちら。https://mikoto-inc.com/tmail/

※Googleカレンダーをお使いの方：

みことイベントScheduleおよびZoom URLを記載したカレンダーを用意しています。編集部の松谷までお気軽にご連絡ください。

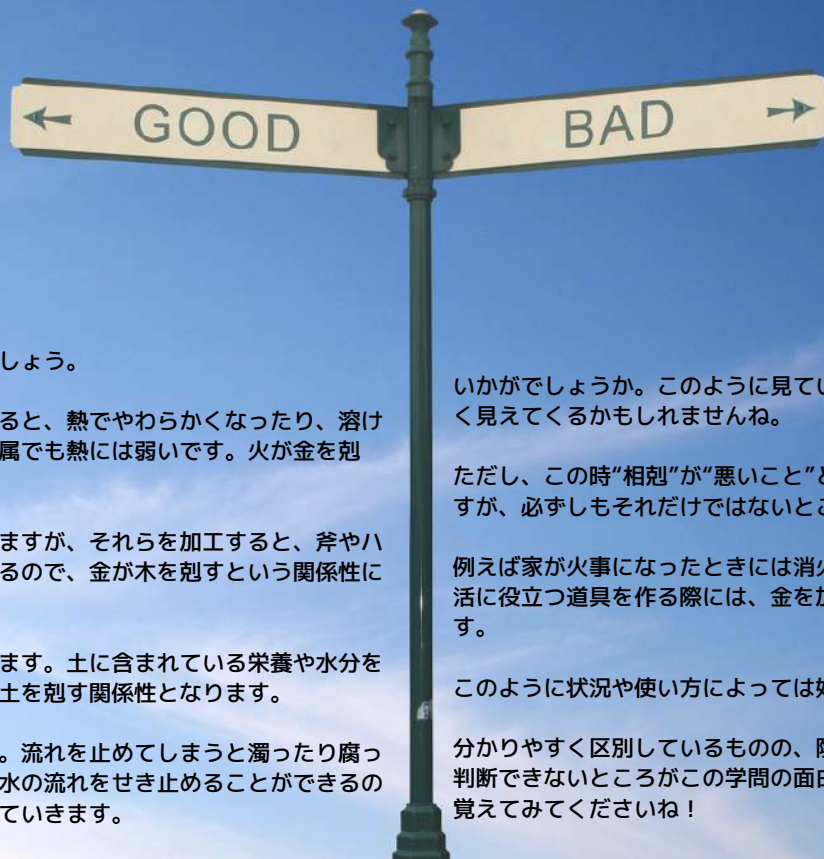




そうこくろん

# コラム：相剋論って何？

By Nobuyuki Shinkai



同じように他の五行を見てみましょう。

『金と火』：金属に火を近づけると、熱でやわらかくなったり、溶けてしまいます。硬く強そうな金属でも熱には弱いです。火が金を剋(こく)す関係性になります。

『木と金』：金とは鉱石を表しますが、それらを加工すると、斧やハサミになります。木や植物を切るの、金が木を剋すという関係性になります。

『土と木』：木は土に根を張ります。土に含まれている栄養や水分を木が吸い取る場所から、木が土を剋す関係性となります。

『水と土』：水は流れゆくもの。流れを止めてしまうと濁ったり腐ったりしますが、土は堤防の如く水の流れをせき止めることができるので、土が水を剋す関係性となっていきます。

いかがでしょうか。このように見ていくと相剋という関係がなんとなく見えてくるかもしれませんね。

ただし、この時“相剋”が“悪いこと”というイメージを持ちやすいのですが、必ずしもそれだけではないところに注意が必要です。

例えば家が火事になったときには消火するには水が活躍しますし、生活に役立つ道具を作る際には、金を加工するために火が役に立ちます。

このように状況や使い方によっては好転する場合もあります。

分かりやすく区別しているものの、陰と陽という二極で単純に物事を判断できないところがこの学問の面白いところです。ぜひ相剋関係も覚えてみてくださいね！



## みことTIMES感想フォーム

「みことTIMES」のご感想をぜひこちらまでお寄せください！

編集部の方々の個性と魅力が溢れる「編集後記」をととても楽しみにしています。内容も多岐に渡り学びが多いです。



(Sさん・埼玉県)

編集後記…  
いつもみことTIMESをお読みいただきありがとうございます。編集部の五十嵐麻子です。

早いもので今年も半年が過ぎました。ちなみに私達が学んでいる学問は一年の始まりを2月の立春とするので折り返し月は8月ですが、もう半年と見るか、まだ半年と見るかで、物事の捉え方の癖がわかってきました。

7月の異名である「文月」の由来の一つに七夕があります。今年は2年ぶりに職場のビルのエントランスに笹飾りが登場するので、短冊に「願い事」を書こうと思っています。

私的「人生の折り返し地点」は十数年前でした。そのことを強く意識したからなのかはわかりませんが、みる世界・感じる世界が徐々に変化しているのを感じます。誰もが皆、健康で平和で幸せでありますように。笑顔で過ごせますように。穏やかに、安らかなひと時がありますように。この学問は心の平穏をも、もたらしてくれました。NYスクールで学んだ仁徳、慈愛、Compassionからの世界平和。今では自分の願いでもあります。「世界をやっつけて包む」。みことTIMESが、世界平和の種になりますように。

編集部 (五十音順) … 赤石京子、五十嵐麻子、小川亜由美、松谷愛、宮本陽子、山口紗矢佳、山本えりこ



## 2023年7月 己未月

### 生き方のポイント

陰陽五行では、7月7日(金)～8月7日(火)の1ヶ月を己未(きどのひつじ)月と呼びます。己未を細かく見てみると以下ようになります。

己(きど) = 畑  
未(ひつじ) = 晩夏

己は畑を表し、未は晩夏の土壌を表します。夏の畑は実りが豊富で、収穫も多い干支となります。表面的には穏やかに見えますが、内面では強い自我を持っており、時に感情が表にでてくることもあります。その自我が時に葛藤となることも。十分な実りをつくるには太陽の恵みや成長に欠かせない水が大切です。色んな体験を取り入れ、自己変容をしながら力を蓄えていくことで良さを発揮します。このことから、変化を前向きに捉え、コツコツと努力を重ねていくことを意識して過ごしてみたいかがでしょうか？

- 己未のポイント
- ◆学び、本質を探究することで成長する意識をする
  - ◆忍耐力と度量で人を教える育てていくこと
  - ◆変化に向き合い、コツコツと努力を積み重ねること

陰陽五行は自然の事象を元に考えられています。ポイントを意識することで、自然との調和、運気の流れを感じてみてください。皆さまの日々が豊かなものとなりますように。